



「市民本位の市政」を目指して

三好市長 黒川 征一

新年あけましておめでとう

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年、市政各般にわたり、格別のご支援とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。

二代目の市長に就任して以来、約5か月が経過いたしました。市民皆さまから託された責任の重さをしっかりと受け止め、その期待に応えるべく、信頼される市政運営に全力で取り組む決意を新たにしております。

さて、昨年を振り返りますと、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、富士山の世界文化遺産登録、本市では、池田高校野球部の躍進などの明るい出来事が、未来を担う子供たちに夢と希望を与えました。一方、全国的に温暖化による猛暑日が続く、記録的な大

雨や大規模な竜巻による自然災害が、日本各地に大きな被害をもたらしました。

本市におきましては、南海トラフ巨大地震を含めあらゆる災害から「市民の生命と財産を守る」ことを最優先課題とし、市民生活の維持向上、福祉サービス充実のための各種施策に積極的に取り組んでまいります。

住宅耐震化の助成制度拡充など防災・減災対策をはじめ、老人福祉施設の開設や介護サービスの充実など、さらなる住環境の整備に努めてまいります。

本市では、少子・高齢化、過疎化の進行が著しく、出産や子育て支援、雇用の拡大、若者の定住促進など、取り組むべき課題が山積しております。

まず、子育て支援では、「中学校卒業までの医療費の助成」や「第3子以降の保育料無料」、「出産祝い金」に代わる「育児

補助制度の創設」など、若者が住みやすい、住み心地の良いまちづくりに取り組んでまいります。

さらに、水道や生活道、ゴミ処理施設等のインフラ設備の老朽化対策や将来を見据えた既存の公共施設のマネジメントなど、市民の暮らしに直結した施策について、限られた財源により計画的な実施に努めてまいります。

今春、観光名所である「大歩危」が新たに国の天然記念物に指定されることになりました。先人が残した美しい四季折々の景観を守るとともに、市内各地の歴史・文化・伝統を最大限に生かした「三好市丸ごと観光」づくりを図り推進してまいります。

また、本年は「弘法大師開創1200年祭」が、大師ゆかりの雲辺寺等で開催されるをはじめ、「JR徳島線全線開通100周年」、「剣山国定公園選定50周年」

など、各種記念行事が予定されており、あらゆる機会を通して「三好市」を全国に発信してまいりますと考えております。

本年3月には合併から9年目を迎えます。本市の社会経済情勢は、厳しい状況に変わりはありませんが、行財政改革の着実な推進により、財政の健全化に向けて、効率的で公平公正な行政運営に努めてまいります。

本年も「市民本位の市政」を実現していく上で、市民皆さまとの積極的な対話を通じて、市政に対する信頼を高め、その歩みを確実に一歩ずつ進めてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春の門出にあたりまして、市民皆さまのご多幸とご健康を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



三好市民の皆さま、新年おめでとうとございます。

三好市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、夢多き初春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は三好市議会に對しまして、温かいご支援、ご指導を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国的に自然災害が多発した年であった気がいたします。7月の中国地方、8月の北海道・東北地方、9月の京都・滋賀、そして10月の伊豆大島と、いずれも記録的な豪雨により災害が発生し、多くの方が犠牲となられました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に一日でも早く穏やかな日々が訪れるこ

とを心よりお祈りいたしております。

三好市においては、幸いにも大きな災害は発生しませんでした。が、こうした災害に対する心構えや予防保全の重要性を改めて認識しているところです。

さて、国のデフレ脱却と経済再生に向けた取り組みにより、経済は全国的には明るさを取り戻しつつあるようですが、地方には十分に浸透していないのではないのでしょうか。

ほとんどの地方では、少子・高齢化の進行や、過疎化などに歯止めがかからないことをはじめ、多くの厳しい課題に直面しており、さまざまな手法によりこれらの課題に積極的に対応することが求められております。

三好市においては少子・高齢化の急速な進行や過疎化対策だけでなく、経済の活性化、雇用対策、高齢者や子育て支援、農

林業の再生などに取り組んでいかなければなりませんし、近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめとする災害に対しても防災・減災対策を一層推進していく必要があります。

こうした中、市議会は、政策形成や多様な市民の皆さまの意見の集約・反映、利害の調整などを通じて、意思決定機関として、また、執行機関の監視・評価機関としてその役割を十分に発揮しながら、市民の皆さまの福祉の向上および市政の発展に寄与していかなければなりません。もちろんその機能を発揮するためには議会の改革を進めることも必要です。

市議会といたしましては、昨年3月に条例を改正し、議員定数を2名削減することといたしました。また、9月には多くのメリットがある通年会期制を導

入するなど、議会の改革にも積極的・継続的に取り組み活性化を図ってきたところです。

今年4月には、私も議員は4年の任期が満了し、市民の皆さま方の審判を受けることとなりますが、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員としてより一層の資質の向上に努めるとともに、議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、市民の皆さまの負託とご期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいります所存であります。

どうか、本年も市議会に對し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。

さらなる改革・活性化の取り組みを

三好市議会議長 平岡 進治

